



四万十町  
町内「ぶらへり」散策

# 琴平町

ことひらちよう



趣のある水路

琴平町は、榊山町とその発展の経緯が似ている。この町も戦後しばらくまでは辺り一帯が田畑であった。それが、昭和26年のJ.R窪川駅開業を機に、みるみるうちに「街化」していった。ただ、琴平町には、その町の名の通り「琴平神社（金刀比羅宮「こんぴらさん」）」があり、「駅」を中心に発展した榊山と違って「駅」と「神社」と「遍路道」の三つの要を軸として発展してきた。したがって、生活道も少し入り組んでいて複雑である。そこがおもしろい。線路と平行して走る道路や商店街と、旧遍路道と、こんぴらさんへ続く道……。趣のある水路などもあり、ぶらぶら歩くといろいろな発見があつて楽しい。吉見町商店街も昭和の香りがして、何とも言えない懐かしさを醸し出

している。さて、こんぴらさんこと琴平神社である。建立は江戸時代初期といわれる。境内へ上る階段の脇にある記念碑を読むと、窪川山内家・家老三代目山内丹波勝政によって建立されたとある。もともと、こんぴらさんは海上交通の安全を願うという信仰が一般的であるが、このこんぴらさんは海と火を祀り、さらには商売繁盛の神様としても、人々の信仰を集めてきたということである。こんぴらさんの愛称で庶民の中に入つていった江戸期。ここはそんな時代に建てられたことも、信仰の幅が広がったことの一因かもしれない。

ところで、神社横の旧遍路道を南に、吉見川に向かって緩やかな坂道を下ると、窪川小学校の正門前が出る。そこから堤防沿いの小道に上がると、お地藏さまがいらっしゃる。その昔「見渡し地藏さん」として、吉見川を渡る人々を見守っていたのだそう。いつ訪れても、お花などが供えられていて、地区の方に大切にされていることが伝わってくる。



どこか懐かしい吉見町商店街

## 町のうごき

(7月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,722	-11	男 6	11	9	15
女	9,820	-28	女 0	16	12	24
計	18,542	-39	計 6	27	21	39
世帯数	8,703	-4	(7月中の届出)			

## 四万十川の水質状況

	適正值(mg/l)	8月15日
リン酸	≤ 5.0	測定範囲以下
硝酸	≤ 0.5	測定範囲以下
アンモニウム	≤ 5.0	0.692
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.700
化学的酸素消費量	≤ 10.0	測定範囲以上

調査：大正（吾川）  
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)